



歯舞地区マリンビジョン協議会事務局では、地域協働の取組みにより作られた『歯舞地区マリンビジョン計画(平成19年3月策定)』の行動計画について、個々の推進状況など、活動の様子について「歯舞地区マリンビジョンニュース」を発行して、地域の皆様方にお知らせしています。

発行・編集：歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

## 第10回 「歯舞こんぶ祭り」

～3,500人が来場、歯舞の味覚を堪能～

8月28日、歯舞産コンブの普及や料理などをPRする第10回「歯舞こんぶ祭り」を歯舞漁港屋根付き岸壁、市場内にて開催しました。大漁旗が掲げられた会場には、昆布製品や昆布料理などが豊富に並び、あいにくの天候にもかかわらず3,500人が来場し、歯舞の海の幸を堪能しました。

漁協女性部担当の飲食コーナーでは、昆布うどん、昆布そば、昆布ごはん、たらフライなど、歯舞の特産品を素材に使ったメニューが並び、買い求めるお客さんの列ができました。

海産物や昆布製品の販売コーナーでは、北海しまえびが浜値で提供され、1時間ほどで完売する盛況ぶり。また、当漁協の新商品「はぼまい昆布しょうゆ贅沢仕上げ」が特別価格で販売され、こちらも長い行列ができました。

このほか、「東灯」の「昆布ラーメン」や「ホテルねむろ海陽亭」の「昆布焼きそば」、ご当地グルメ「根室さんまロール寿司」、漁協交流を行っている長崎県上五島町漁協の加工品販売などが行われ、どのコーナーも賑わいをみせました。

アトラクションでは、海難遺児のチャリティ抽選会、昆布漁体験コーナーのほか、特設ステージでは演歌歌手夏川あざみさんのステージや、昆布そばを使った「わんこ昆布そば大会」、歯舞小中学校によるよさこい、瑤瑠獅子神楽保存会による演舞などが行われ、会場からは大きな拍手と声援が送られました。

今年も地域が一体となったイベントとなり、大盛況のうちここんぶ祭りを終了することができました。ご来場いただいた皆様、並びにご協力いただいた関係者の皆様、ありがとうございました。



大漁旗が掲げられ賑わう会場



←歯舞漁協小倉啓一組合長による開会の挨拶

↓人気の北海しまえび



↓わんこ昆布そば大会



瑤瑠獅子→神楽保存会による演舞



## 歯舞中3年生 サンマの薫製作りに挑戦

● 歯舞小中学校の中学3年生11人が10月6日、旬のサンマを使った薫製作りに挑戦しました。

● 郷土愛を育み、地域への理解と関心を深めようと同校が取り組む「はぼまい学」の一環で、歯舞漁協よりサンマ225匹を提供し実施されました。

● 生徒たちはサンマをさばくのに最初は苦戦しながらも、黙々と作業に集中。開いて処理したサンマは、特製ダレに漬け込み、網箱の上で乾燥させてから薫製室でいぶしました。出来上がった薫製は真空パックに詰めて、全校集会の場で児童生徒に配布しました。

● 昭和45年から続く伝統の授業。先輩から後輩へ、これからも地域の味が引き継がれていくことを願っています。



## 北方領土ゼミナール 歯舞漁協で昼食を提供

● 9月5日～8日、「平成28年度北方領土ゼミナール」が開催され、全国の大学生・大学院生ら47名が根室市を訪れました。北方領土に関する講義や、北方四島視察、元島民との講和などが行われ、参加者たちは熱心に北方領土について学び知見を深めました。

● 歯舞漁協では6日に昼食を提供し、さんま刺身やいくら醤油漬け、結び昆布、北海しまえびなど、歯舞の海の幸をたっぷり詰め込んだお弁当は、若い世代にも大変好評でした。



昼食の様子↓



## 島根県・高知県の中学生らが歯舞漁協訪問 北方領土青少年現地視察



(独)北方領土問題対策協会の平成28年度北方領土青少年等現地視察支援事業の一環で、島根県・高知県の中学生20名と北海道の高校生20名が歯舞市場を訪れました。

同事業は青少年らに自らの目で北方領土を見てもらうと共に、元島民の体験談などを通して北方領土問題を正しく理解してもらい、返還運動のすそ野を広げることを目的に実施しています。

生徒たちは、その日に揚がった魚についての説明を受けたり、セリの見学等を行い、市場関係者の説明に写真やメモを取りながら熱心に耳を傾けていました。

## 編集・発行・お問い合わせ

■ 編集・発行 歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

■ お問い合わせ 事務局 担当：根室市水産経済部水産振興課水産振興担当

電話：0153-23-6111 FAX：0153-24-8692

